

## 令和5年度「#あおばな in 三沢高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり県立三沢高等学校で開催しました。

○日時：令和5年9月5日（火）14：00～15：15

○場所：県立三沢高等学校 第一体育館

○参加学生：2学年生徒188名

### <生徒との意見交換>

代表生徒からの意見に知事がお答えしました。

- ①旧校舎の有効活用と通学に要する交通費について
- ②県内への大学設置、少子高齢化対策について
- ③北海道・北東北の縄文遺跡群の活用と情報発信について
- ④土地や施設の再利用による地域活性化について

上記に係る意見交換の後、約40名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

これから皆さんは、本当にさまざまな学習活動をしていくのだと思います。日々の勉強は大変なことが多い。難しくなってくるし、不満もあると思います。でも大事にして欲しいのは生徒同士の学び合いです。

友達を大事にして、部活動の仲間を大事にして、クラスメイトを大事にして、物事を作り上げていくその対話、これを大切にしたい。それを実践を通して感じてほしいと思い、(野球ボールを使った)ゲームをさせてもらいました。

野球ボールを見るたびに、このことを思い出して欲しいと思いますし、高校生活の中でこのゲームが活ければいいなと思います。

別にここで負けたとか勝ったとかということは、結局どうでもいい。でも外から見ただって分かったよね、どっちが勝ちそうかって。そういうふうに、皆さんの活動というのはしっかり見られていると思うし、見てもらっていると思うので、これからの学校生活、ぜひ頑張っていたきたいと思います。

